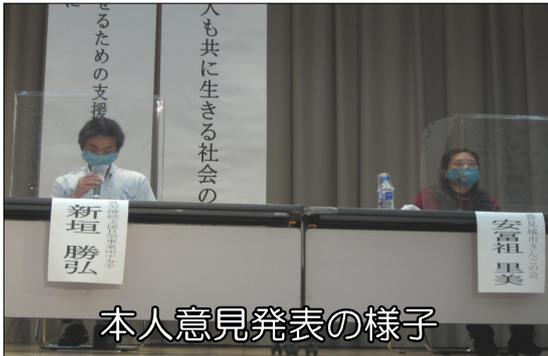


# 第54回沖縄県知的障がい者教育・福祉・就労研究大会のご報告



本人意見発表の様子



式典の様子

手をつなぐ・うちな〜  
知的な障がいのある人と共に  
県育成会のHPにもカラーで掲載中

発行所  
沖縄県手をつなぐ育成会  
那覇市首里石嶺町4-373-1  
沖縄県総合福祉センター内  
TEL 098 - 882 -5727  
FAX 098 - 882 -5720  
E-mail: oki-iku@woody.ocn.ne.jp  
HP: http://www.oki-iku.com/  
発行人 理事長 田中 寛  
定価 50円 (会費を含む)

2月20日(土)沖縄県総合福祉センターゆいほーるにて「第54回沖縄県知的障がい者教育・福祉・就労研究大会」を開催しました。コロナ禍の中において、形式で開催するに当たり、行事について随分も議論がなされ、随分と福社・就労研究大会の開催が、状況の課題を共有する為と、大会の開催を致しました。加えて、10名程で、沖繩電力様への感謝状をはじめ、川好彦副理事長、元山尊章様、彰儀様、宮平幸代様への表彰状、説明会は始まりました。行政説明では「那覇市の難行要支援者」に関する取り組みと、策課の比較が、災害時の対応が、避難対策の日常から行われ、円滑な避難に繋がるとの報告がありました。

障がい者虐待について「田中理事長の講演が行われました。コロナ禍の密閉された施設や家庭内での虐待防止対策や、4月からの制度改正により、現在行政のみが義務付けられている「合理的配慮」を、民間企業への義務付けを適応すべき改正案が国会で進んでいること、また福祉事業所に「虐待防止に関する責任者や委員会の設置」を令和3年度からは「努力義務」、平成4年度からは「義務付け」の改正などが報告されました。垣勝弘様と、安富祖里美様、さらにはシンポジウムでは、ななき分校の西田敦子教諭が、学校の取り組み、社会福祉士の宮田英治氏が後見人制度について貴重な意見を発表されました。

本大会の開催にあたり、ご支援ご協力頂きました関係者・ご関係機関の皆様、そして大会の趣旨にご賛同賜りご協賛下さいました多くの皆様に、心より感謝を申し上げます。



表彰式の様子

沖繩県内外の様々な分野において、多大な社会貢献事業を展開されている沖繩電力株式会社様より、県育成会主催の「沖繩県知的障がい者教育・福祉・就労研究大会」に対し、平成17年より長きにわたるご支援を頂いております。このコロナ禍の厳しい社会情勢の中である今年度も、知的障がいのある人達やご家族に対する温かいご支援として、多額のご協賛をいただきました。そのご支援に対しまして、心からの感謝を申し上げます。状を贈呈致しました。

【目次】

PPPPPP 654321

第54回研究大会の参加者の感想文

① 希望書

② デンタルフェア案内

令和3年度事業計画案・理事通信

沖縄県への要望書

令和3年度事業計画案・理事通信

令和3年度事業計画案・理事通信

令和3年度事業計画案・理事通信



沖繩電力株式会社様より  
協賛金を頂きました

# 第54回沖縄県知的障がい者教育・福祉・就労研究大会 ～参加者の感想文～

1面でもご紹介致しました「第54回沖縄県知的障がい者教育・福祉・就労研究大会」に参加された方々の感想をお伺いしました。  
お忙しい中感想を寄稿して頂いた皆様、誠にありがとうございます。



## 研究大会に参加して

就労サポートセンターありんこ  
比嘉 章吾



今回はコロナ禍の為、半日という短い時間ではありますが、行政説明・基調報告などいろいろ

ろな話を聴けました。特に印象に残ったのは「本人の意見発表」でした。2名の方が自分のこれまでの状況や将来の夢について発表されていました。自分に今必要なサポートを理解し周囲に頼むことや生活費の事などしっかりと考えて行動できている事にとても感動しました。今年度はコロナウイルス感染症の為に施設ではほとんどイベントが規模縮小や中止になりました。家庭でも不要不急の外での自粛など施設利用者の方々の楽しみが減っていると思います。この状況の中でも、毎日出勤し頑張っている利用者の皆様が、少しでも楽しんで日々の施設生活で過ごせるような支援を心がけていきたいと思います。



## 研究大会に参加して

奏ホールディングス  
宮城 亜希



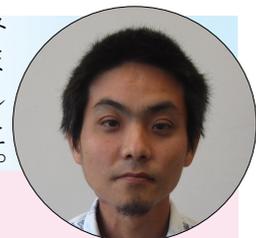
今回の大会に参加させて頂いたいただき、ありがとうございました。

うことですが、私は、はなさき分校の西田先生の取り組みのお話にとても心を打たれました。学校という場と先生という職業だからこそ、専門的で細やかな支援ができるのだらうなと感心致しました。しかし、その場所のできる同じような取り組みは、彼らが過ごすどの場所でもできるような気がします。専門的でなくても、快く受け入れるという基本的な姿勢だけでも十分だと思えます。住んでいる場所で生活を続け、場合によっては権利擁護を活用しながら、ご本人が希望する生活を送る前に送れる社会にしたいのです。そうなったらいいのにな。次回もご本人達の発表を楽しみにしております。



## 研究大会で本人発表に参加して

就労継続支援B型事業所ナカヤ  
新垣 勝弘



意見発表を頼まれた時は、一体、自分の何を発表したら良いのだろうか？と悩

みました。しかし、支援学校卒業後から、これまでの自分のことを振り返ることができ、とても良い経験をさせてもらえたと思います。県外で就職・結婚、癌になったことなど、結構色んなことがあったんだなあと感じました。癌になった時はショックでしたが、今回、意見発表として皆さんに聞いてもらえたし、自分の経験が少しでも誰かの役に立っていたら嬉しいですね。頑張ったくさんの人の前で発表すること、最初は緊張しましたが、ありがとうございました。



**沖縄県育成会からの新型コロナウイルス感染症ワクチン接種に関する沖縄県への要望書****新型コロナウイルス感染症ワクチン接種に関する要望(2月25日提出済)**

令和3年(2021年)2月25日

沖縄県知事  
玉城 康裕 殿

日ごろから、本会の活動へのご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症(以下「新型コロナ」という。)の感染および重症化予防を目的としてワクチン接種が開始されることが発表されました。本会としても、ワクチン接種の実現に感謝申し上げるとともに、医療関係者などへの優先接種を皮切りとした迅速な接種体制の確立を期待するものです。

他方、知的障がい児者の中には新型コロナ重症化リスクが高いとされる基礎疾患を有する者もいるほか、障がい特性を考慮した接種方法の選択などを希望する声が多く寄せられております。

つきましては、本会から下記の要望を提出いたしますので、感染症対策担当部所及び各市町村との調整に当たっては十分にご留意いただきたく、よろしくお取り計らいのほど、お願い申し上げます。なお、新型コロナに関する各種の要望と同じく、すべての事項について完全に履行することを求めるものではなく、知的障がい児者向けの対応方策の検討を本会や関係団体とともに考えていただきたい趣旨であることを申し添えます。

## 記

**1 重症化リスクのある基礎疾患を有する人などへの確実な優先接種**

本会としても、現時点の知見により、知的障がいであること自体は新型コロナの重症化リスク要因ではないことを理解しております。しかし、当然ながら一定数は重症化リスクのある基礎疾患を有する人もいますし、重度重複障がい児者についてはそもそも基礎体力が十分でなく、感染症全般に大きなリスクを有しているといえます。こうした重症化リスクのある基礎疾患を有する人などへの確実な優先接種を各市町村へ改めて通達してください。

また、重度知的障がい児者の中には、接種後の副反応について自ら異常を訴えることができない人も多くいます。そのため、身近なかかりつけ医にも、副反応等の情報を的確に情報提供していただくよう、お願い申し上げます。

**2 障害福祉サービス事業所などにおける集団接種の実施**

厚生労働省のホームページによると、ワクチン接種には大きく地方自治体の指定する会場での集団接種、指定医療機関での個別接種が例示されています。しかし、知的障がいや発達障害(自閉症圏)の人がスムーズに接種するためには、慣れた施設や医療機関での対応が重要と考えます。接種場所については柔軟に対応するよう、各市町村への通知をお願いします。

また、障害福祉サービス事業所や障害者支援施設単位で接種可能とする場合には、当該事業所等利用者のうち、接種順位が最も高い人に対してタイミングを合わせていただきますよう、あわせて通知してください。

次ページに続く

### 3 接種に関する本人意思確認の支援

知的障がい児者にとっては、新型コロナそのものがどういった感染症であるか理解しにくいことに加え、ワクチンの接種にはどのような効果と副反応が想定され、なぜ期間をあけて2回接種する必要があるのかなど、ワクチン接種に関する分かりにくさも想定されます。さらに、ワクチン接種を希望するか否かについて、本人の意向を確認するための支援が必要な人が多いことにも十分留意する必要があります。

田村厚生労働大臣も、国会において「国民にしっかりと情報提供したうえで、本人の意思に基づき」接種の是非について判断することが重要である旨を答弁していることを踏まえて、次の2点について早急な対応をお願いいたします。

- (1) ワクチンの接種による効果と副反応（特に重篤な副反応が起こりやすい状況、てんかん発作との関係性、アレルギーの有無など）、期間をあけて2回接種する必要性などを、知的障がい児者に分かりやすく情報提供するリーフレットなどを作成し、広く周知してください。知的障がい児者だけでなく、子どもや国外にルーツを持つ人たちへの情報提供としても有効と考えます。
- (2) 分かりやすい情報提供を基礎として、障害福祉サービス事業所等において浸透しつつある意思決定支援の取組みを最大限に活用し、ワクチン接種の希望については可能な限り丁寧に本人の意思を確認する取組みを徹底してください。

以上



## スペシャルうまんちゅネットワーク 令和2年度：障がいのある方々のデンタルフェアのご案内



♪テーマ「まるわかり！コロナ禍での口腔ケア」♪

配信期間

令和3年**3月1日(月)**～**3月31日(水)**

初の  
オンライン  
配信

視聴方法

～YouTubeでの配信です～

無料

沖縄県歯科医師会 公式サイト <http://www.okisi.org>

スマホ・タブレット端末の方は、下のQRコードから公式サイトにアクセス!!

配信コンテンツ●沖縄県口腔保健医療センターの紹介

- コロナ禍での障がい者歯科医療
- 障がい者の口腔ケア等紹介



沖縄県歯科医師会ご当務

よ坊さん



★お問い合わせ先：沖縄県歯科医師会 TEL：098(996)3561

# 令和3年度沖縄県手をつなぐ育成会 年間行事計画 (案)

月	行事
5月	・30日(日) 令和3年度 定期総会 (沖縄県総合福祉センター)
7月	・「心の輪を広げる体験作文」及び「障害者週間のポスター」募集開始
9月	・未定 第25回育成会文化祭り (場所未定) ・4日(土)~5日(日) 第60回九州地区手をつなぐ育成会 九州地区大会 (大分県)
10月	・23日(土) 第29回沖縄県ゆうあいスポーツ大会 (沖縄県総合運動公園) ・未定 令和3年度沖縄県障害者虐待防止・権利擁護研修
2月	・26日(土) 第55回沖縄県知的障がい者教育・福祉・就労研究大会 (沖縄県総合福祉センター) ・未定 全国手をつなぐ育成会連合会事業所協議会全国研修大会 (岩手県)

【令和3年度以降の全国大会について(予定) ※現時点の予定ですので今後変更があればお知らせします】  
 ※全国手をつなぐ育成会連合会主催の全国大会は、令和3年度は、全国からの集合形式は取りやめ、全国大会相当のイベントをオンラインで開催する予定です。  
 令和4年度はコロナの状況を見ながら今後検討していきます。  
 令和2年度に中止となった愛媛大会を、令和5年度に改めて行う予定です。

\*\*\*\*\*



## 理事通信

― 理事として ―

理事 桑江 澄子



理事に就任してからも古株になろうとしておりますが、育成会活動の必要性を感じ、常にフレッシュな気持ちで活動に参加しております。昨年4月より沖縄市手をつなぐ育成会の会長にも就任しました。がこちらの活動も自粛状態です。

昨年と今年にかけて新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、諸事業や行事等が活動自粛になり開催できなくなりました。

今年度の育成会全国大会や九州大会も開催出来なくなっています。が、沖縄県手をつなぐ育成会発のこの広報誌が、今は何よりの情報源になっています。

これからも広報誌で色々な情報発信と、会員の皆様の色々な投稿を募り、情報交換が出来れば、広報誌を見るのがもっと楽しくなるのではないのでしょうか？

活動が自粛になっていく時こそ、この広報誌を活用し情報を得ていきましょう。県育成会の田中理事長も、九州をはじめ、全国の育成会で活躍され、日々頑張っておられます。

これからも育成会活動を、会員の皆様と共に頑張っていきたいと思っております。

### 田中理事長のゆんたく広場

詩を愛する竹馬の友がインターネットに投稿しているユニークな「さしすせ素ブログ」を見るのが日課です。

定年後の徒然に書き綴っているだけのブログなのに、最近、賛同(いいね)を評価する「ハートマーク」が設定されました。

「毎日数名のチェックが入るが、誰が興味を持って読んでくれているのか？」と作者である本人自身も、とまどっています。

興味のある人物名などでネットを検索すれば、簡単に他人の情報などが手に入る現在では、便利さと引き換えに、個人情報保護も厳しく、悪質な詐欺まがいの行為も頻繁に横行しており、高齢者や機械弱者などの被害も目につきます。

文化の進歩とともに、簡単に手に入るものは、やはり簡単になくしてしまう気もしますが、あなたの情報はネット上に漏れていませんか？

「手をつなぐ・うちな〜2月号 第195号」4面下段資料の出版について追記致します。

「出典：障害福祉関係ニュース 令和2年度9号」です。

『手をつなぐ・うちな〜』編集者

理事長：田中寛

事務局：高原 奈々 東江 早苗

### 県育成会行事報告2月

☆2月1日(月) 県総合福祉センター 県育成会第4回三役会議

☆2月20日(土) 県総合福祉センター 第54回沖縄県知的障がい者教育・福祉・就労研究大会

☆2月27日(土) オンライン開催 全国育成会事業所協議会全国大会

### 県育成会行事予定3月・4月

☆3月2日・5日・9日 WEB研修 令和2年度障害者虐待防止研修

☆3月9日(火) WEB会議 九育連会議

☆3月25日(木) 県総合福祉センター 令和3年度県事業所協議会研修会

☆3月25日(木) 県総合福祉センター 令和3年度県事業所協議会研修会

沖縄県手をつなぐ育成会

定期総会の予定日をお知らせします。

☆日時 令和3年5月30日(日) 13時半

☆場所 沖縄県総合福祉センター ゆいホール

### 『手をつなぐ』配布募集

機関誌「手をつなぐ」は、中央情勢・各地育成会の活動、また特集コーナーで、教育・福祉・就労・医療等の最新の情報がわかりやすく掲載されています。

お申込みご希望の方は、

県育成会まで一度ご連絡下さい。  
\*年間購読料 3,900円



### お気軽にご相談下さい

沖縄県手をつなぐ育成会では、知的障がいに関するあらゆる相談をお受けできるよう相談員(砂川副理事長担当)を配置しております。

日頃の「不安なこと」や「これはどうしたらいい？」という疑問を共に解決できるようにお手伝いを致します。

毎週火・木曜日朝9時半〜12時まで相談員がおりますので、お気軽にご相談下さい。  
★電話(88215727)



書籍販売のご案内



価格：税込1,320円 (郵送料振込手数料は実費となります)



価格：税込1,100円 (郵送料振込手数料は実費となります)



### 賛助会員 加入のお願い

昨年同様、沖縄県手をつなぐ育成会へのかわらぬご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

☆☆ 賛助会員の趣旨 ☆☆

沖縄県手をつなぐ育成会は、知的に障がいのある子を持つ親等を中心に結成され、「知的障がい者(児)の心豊かな暮らし」、「社会が障がいの有無に係わらず相互に人格と個性を尊重し合う共生社会」の現実を目標に活動をしています。

その目標の下、知的に障がいのある人の自立と社会参加を推進するため、育成会文化祭り、沖縄県ゆうあいスポーツ大会、研修会、本人活動支援事業等多く事業に取り組んでおります。当会の趣旨にご賛同いただき、活動の資金的なご支援をお願い申し上げます。

☆賛助会員 個人1口 千円

☆団体会員 企業・団体1口 五千元

★琉球銀行・石鐘支店 普 444100

♪連絡先 沖縄県手をつなぐ育成会

Tel 098(882)5727

♪申込書は県育成会HPからもダウンロード可能です。是非ご利用下さい。